報　　告　　書

報告事項	令和７年度第２回会津若松市地域公共交通会議
日　　時	令和７年６月２７日（金）10：00～10:30
場　　所	生涯学習総合センター（會津稽古堂）　多目的ホール

以下、報告いたします。

〇会長あいさつ

本日の内容は、令和８年度地域内フィーダー系統補助金の活用にあたり必要となる交通計画認定申請書についての審議となる。

先日、金川町・田園町のさわやか号にて、体験乗車会が開催されたが、様々な取組をされている地域組織の負託を受けて、申請書を国に提出することとなる。委員の皆さまには、忌憚のない意見を賜りたい。

〇議事

（１） 議案第３号　令和８年度会津若松市地域公共交通計画認定申請書（案）について

事務局より、資料にもとづき説明

【質疑応答・意見】

（福島運輸支局）

交通空白の解消については国としても力を入れて取り組んでおり、５月３０日には、第４回国土交通省「交通空白」解消本部が開催された。

交通空白の解消にあたっては、地域で移動に困っている方の声をとらえながら、まちづくりと連携した取組の積み重ねによって、解消されていくものと認識いただきたい。

今回の申請書の中には、各地域で定期的に利用者の声を聞いていくとの記載があるが、難しい面もあると思う。アンケートを実施しても、利用者増につながらないケースもあるので、実際に乗っていただけそうな方の声をとらえることが重要である。

人口が少なくなっていく中で、利用者数を維持していくのは難しいと思うが、国の制度を活用しながら取組を継続して、公共交通の維持に努めていただきたい。

（事務局）

運営協議会において、月１回程度のペースで定例会を開催し、利用者の声を反映しながら運行の改善を行っている。引き続き、地域と連携しながら進めていきたい。

（議長）

別冊４、５頁の事業目標の部分で令和８、９年度の記載があるが、６年度の実績を踏まえると厳しい状況の中で、北会津のふれあい号など６年度目標に対して上方修正しているものもある。目標の達成に向けて、特段の計画等はあるのか。

（事務局）

別冊５頁の④米代・河東線以外は、地域組織が主体となって運行に取り組んでいる。北会津のふれあい号については、北会津地域づくり委員会にふれあい号について協議する部会が設置されており、部会の協議の中で努力目標として、令和８、９年度の目標を設定したと伺っている。

⇒　原案のとおり、了承。

（２）その他
（東日本旅客鉄道東北本部）
長野電鉄において発生した農業用倉庫が線路内を支障したことに起因する人身事故について、別紙資料にもとづき説明。
本事象を受けて長野県は、果物の木や支柱、特にパイプハウス等の農業用倉庫が痛んでいないかの確認及び固定を農家に要請したようである。
国より、各鉄道事業者から関係自治体へ事象の周知依頼があったことから本会議で共有させていただいた。

２．その他
各交通事業者から、運行状況等について情報共有
（会津乗合自動車）
乗務員を含めた人材確保が課題となっている。人件費の引き上げをしていかないといけないが、車両購入費、燃料費等の運行経費の高騰に歯止めがかからず、補助があっても厳しい状況。今後は、運行本数等の協議もしていく必要がある。

（会津交通）
タクシーについては、４月に県内で運賃の値上げをした。物価高騰の影響もあり、タクシーの利用控えが生じている。

（東日本旅客鉄道東北本部）
今年の２月に大雪の影響で、磐越西線及び只見線において運休が発生したことをお詫び申し上げる。
来年の春には、ふくしまデスティネーションキャンペーンが開催され、福島県単体での開催は、2015年以来11年ぶり５回目となる。今年開催されているプレDCにおいては、磐越西線、只見線にて、あいづSATONO、SLばんえつ物語、風っこ只見号などの観光列車について、利用者から好評いただいている。今後も路線の特色を活かした列車の企画や周遊プランも含め、観光活性化に努めていく。
アフターコロナによるインバウンドの需要が急回復しているが、東北のシェア率はわずか１％であるが、東北エリアへの需要は確実に伸びてきている。今後も地域と連携しながら、誘客促進に取り組んで行きたい。

（会津鉄道）
２月の大雪の影響はあったが、半日のみの運休で済み、地域住民の移動手段を確保できた。
利用客については、１昨年度までは、冬季間の団体客はなかったが、昨年あたりから台湾から雪を見に来る客が増えてきた。雪などの需要を活かしたイベントが作れると考えているので、団体客を呼び込むイベントの企画、PRを実施していきたい。
また、６月の株主総会で社長が代わり新体制となったが、引き続きよろしくお願いしたい。

（福島運輸支局）
人材確保や物価高騰の話があったが、公共交通を維持するためには、継続していくことが重要と考えている。人材不足や予算の問題など、様々な課題が多い時代だと思う。100％の完成度を満たすのは難しいので、その都度、着地点を見出しながら取組を進めていただきたい。
みなさまの力になれればと思っているので、引き続きよろしくお願いしたい。

○その他
特になし

以　上